



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 天界 1936, 16(182)

ISSUE DATE:

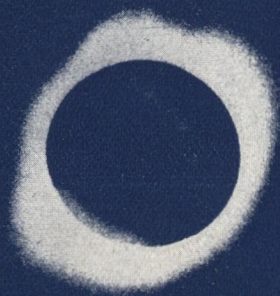
1936-05-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167251>

RIGHT:

天界



日食特輯號

第182號

—(第16卷)—

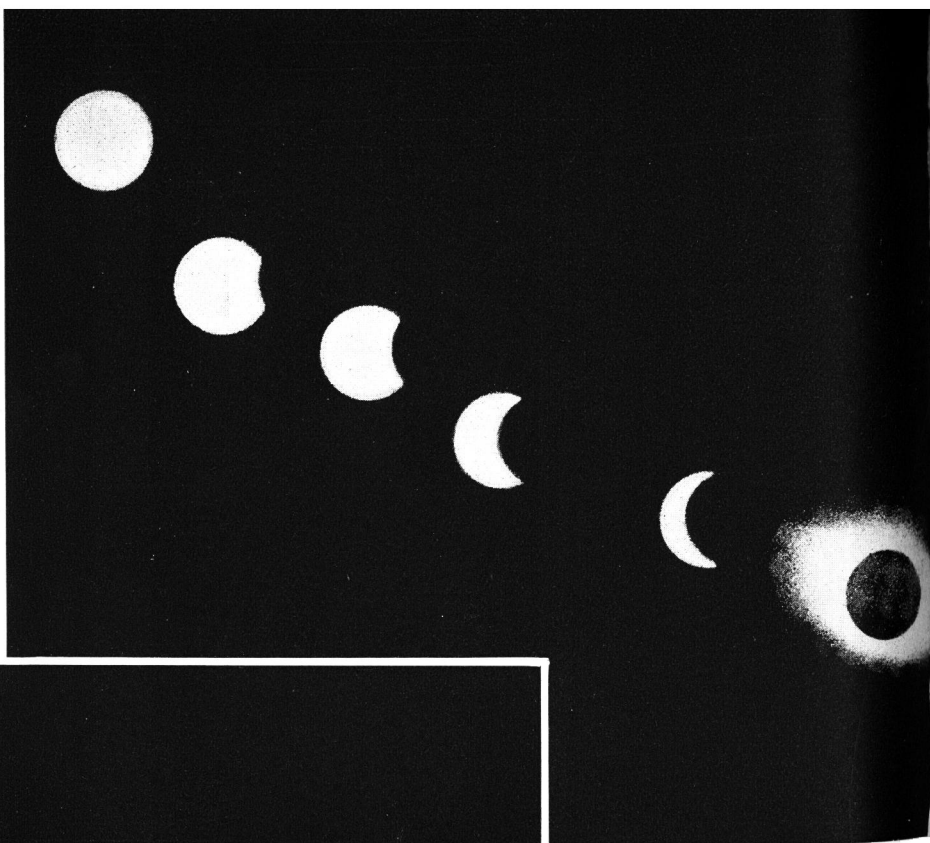
昭和十一年六月

發行

東亞天文協會

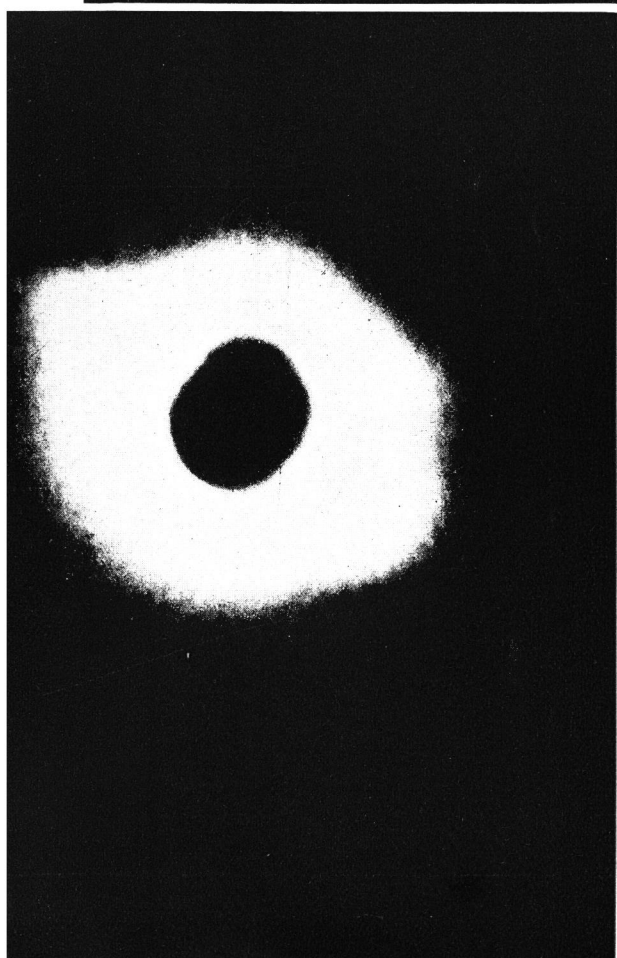


食の進む種々相



一萬五千呎の上空より

(飛行機上撮影)



東 亞 天 文 協 會

會 員 に 關 す る 報 告

〔入 會〕

手塚 綾 彌氏 (東 京) 武 田 進氏 (大 阪)
麓 香氏 (臺 南)

〔觀 測 部〕

田 中 益 造氏 山 田 常 雄氏

注意 移轉の節は直ちに(前住所をも並記して)御通知下さい。
觀測部の方は其旨附記して下さい。

事 務 室

＝ 至 急 ＝ 會 員 徽 章 (Badge) 御 申 込 み 下 さ い !!

このバッヂは 本會々員の方は 全て所持の上、諸會合の際には勿論、平常も胸間に附けて、常に本會々員たる事を表し、親睦の意義を達せられたく思ひます。數に限りありますから、早く御申込み下さい。

O. A. A —
Oriental
Astronomical
Association



考案者 當選秀作
大阪 西森菊雄氏

體形：黒地鐵に金、銀の象嵌とし北極星を基に、北斗七星を天上に配し、色は銀を用ひ、O. A. A. なる文字を金(K 22金)にて鮮やかに表はしたもの、地は黑色鐵、外觀高尚にして、よく天文團體のメムバ ー であることを強調す。

代價 金80錢 (但シ送料不要) 一桐箱入一

代金添付の上御申込み次第、直ちに御送りします。

昭和 11 年 6 月

東 亞 天 文 協 會

(振替口座大阪56765番)

日食特輯號

編輯 理學博士 山本一清 高城武夫 中村 覺

天界 第182號(第16卷) 昭和11年6月號 要目

表紙 寫眞(グラフ)(3頁7葉)

口繪グラフ (16頁23葉)

卷頭 待望の皆既日食来る!!	山 本 生	279
皆既日食遠征各位に告ぐ	水 野 千 里	283
1936年6月19日の皆既日食觀測隊一覽表		284
北海道日食地圖(折込み) 一葉		
花山天文臺の日食觀測陣容に就いて	山 本 一 清	286
滿洲國の標準時いよいよ改まる	山 本 生	289
初等天文講話: 日食の知識	山 本 一 清	290
40年前の日食を見た話		302
日食觀測の方法と2, 3の注意	(石 井 重 雄)	303
簡便で興味深い素人の日食觀測いろいろ	(野 尻 抱 影)	311
日食挿話	村 上 忠 敬	313
日食の觀測者へ	山 本 生	315
枝幸圖書館の由來		318
枝幸と日食祕聞		323
天界新知識		325
觀測部月報欄		327
月面の觀測に就いて	荒 木 健 兒	331
花山だより		333
質 疑 欄		334
天 象 欄		335
日食講演會概況		337
藤井天文臺の改裝成る		338
大阪支部報告		340
京都支部・京星會だより		341
日食特輯後記		342

Contents of the Heavens No. 182. (June 1936.)

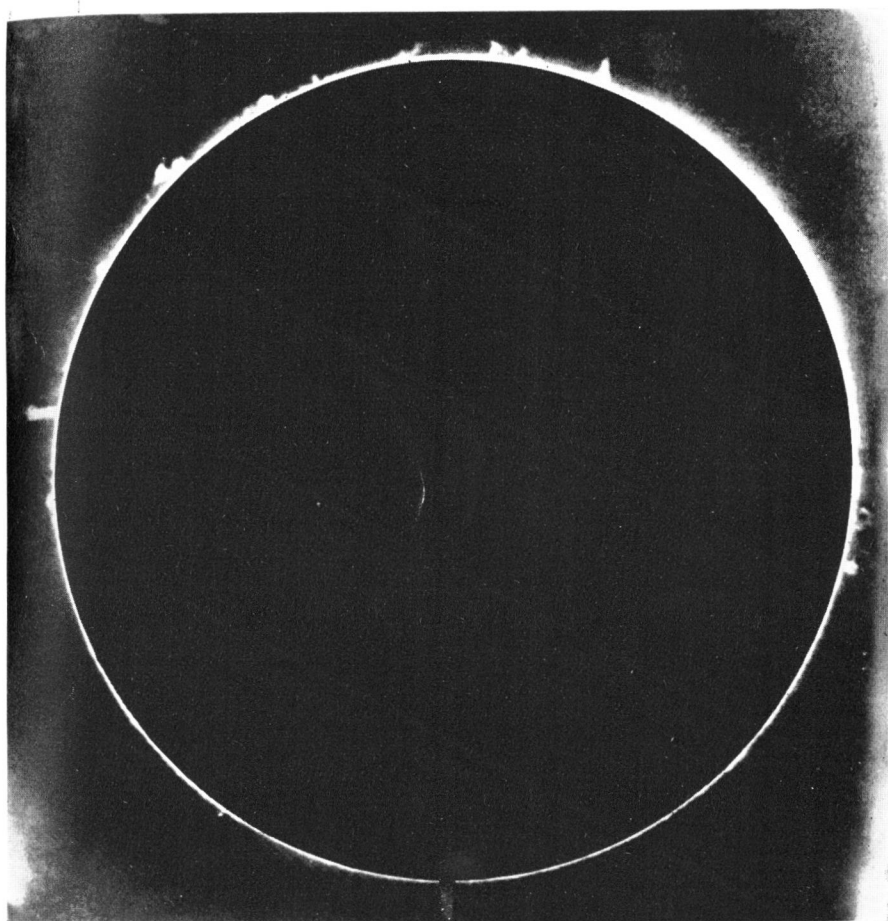
Graphical Pages of Solar Eclipse (Frontispeices);

I. Yamamoto, The Solar Eclipse has come at hand! (279); *I. Mizuno*, A Few Remarks for the Solar Eclipse Observers (283); A List of the Solar Eclipse Expeditions of the World on June 19, 1936. (284); The Solar Eclipse Map at Hokkaido in 1936 (Leaflet). *I. Yamamoto*, On the Solar Eclipse Observation Plans of the Kwasan Observatory (286); *I. Yamamoto*, The Standard Time in Manchukuo decided to be reformed (289); *I. Yamamoto*, A Primary Lecture on the Solar Eclipse (290); Reminiscences of the Solar Eclipse in 1896; *S. Iii*, Methods of the Solar Eclipse Observations and Some Remarks (303); *H. Noziri*, Some Interesting Observations of the Solar Eclipse for Amateur (311); *T. Murakami*, Episodes on the Solar Eclipse (313); *I. Yamamoto*, To the Solar Eclipse Observers (315); A List of the Weather at Esasi, Engaru and Bihoro (316); The Origin of the Esasi Library (318); Esasi and the Total Solar Eclipse (323); LATEST KNOWLEDGES on Astronomy (325); Monthly Reports of Observing Sections of O. A. A. (327); *K. Araki*, On the Lunar Surface Observations (331); Kwasan Notes (333); Questions and Answers (334); Heavens of June, 1936 (335); Lecture Meeting on the Solar Eclipse in Kyoto (337); Fuzii Observatory remodelled (338); Correspondences from Osaka and Kyoto Branches of O. A. A. (340); Editorials (342).

Published by the **Oriental Astronomical Association**, Kyoto Kwasan.

日食特輯グラフ

真紅のプロミネンス



—— 観るもの既食皆 ——

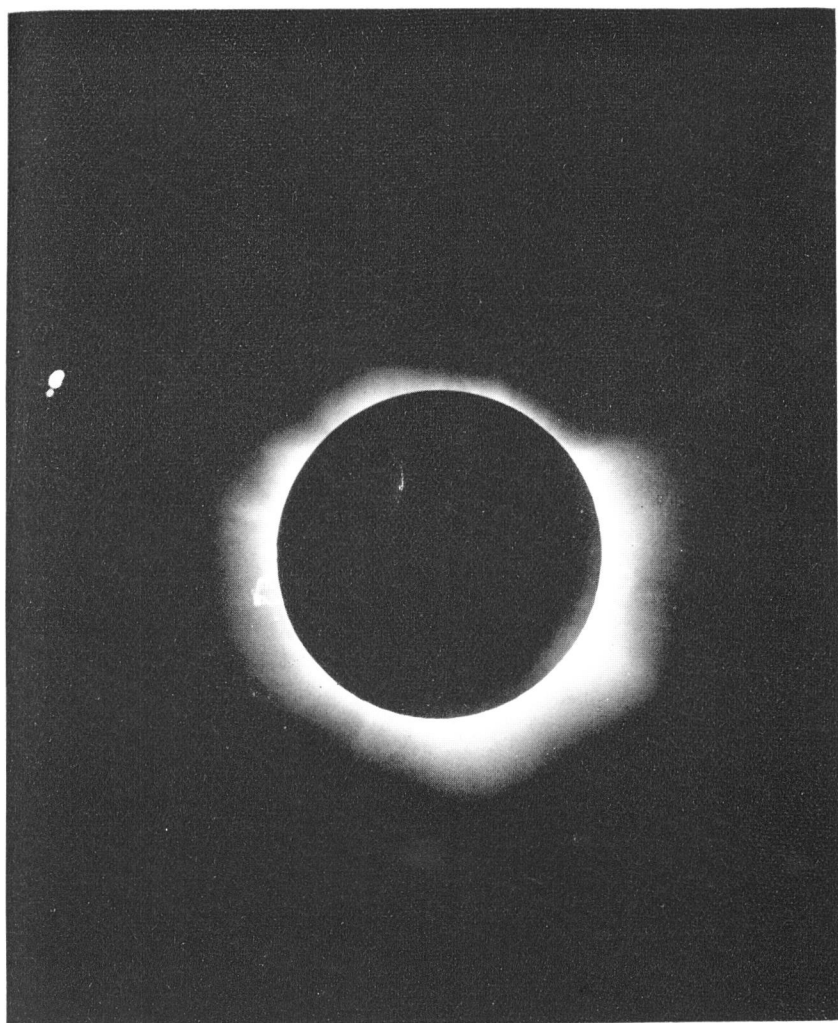
—— 群アマチュアする合集 ——



美しきプロミネンス コロナの輝き

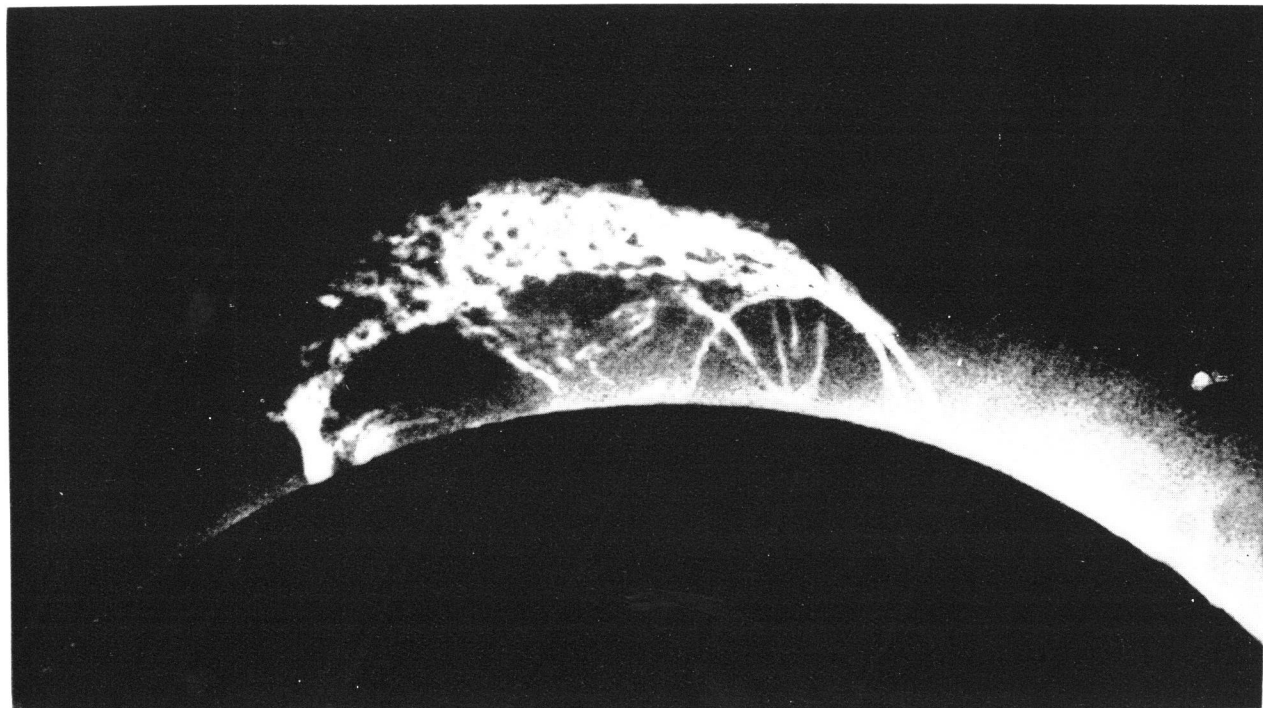
——1929年5月9日スマトラ日食——

(京都大學観測班撮影)

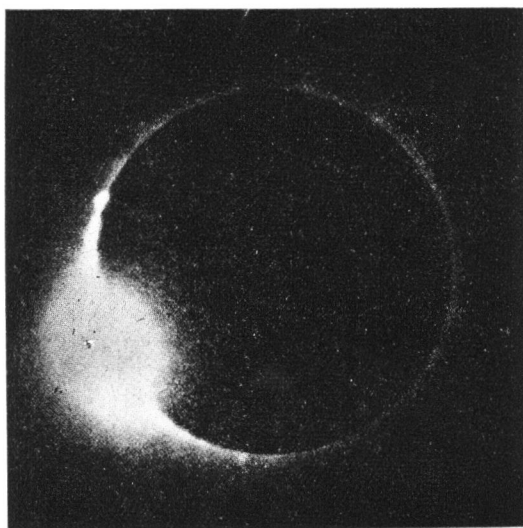
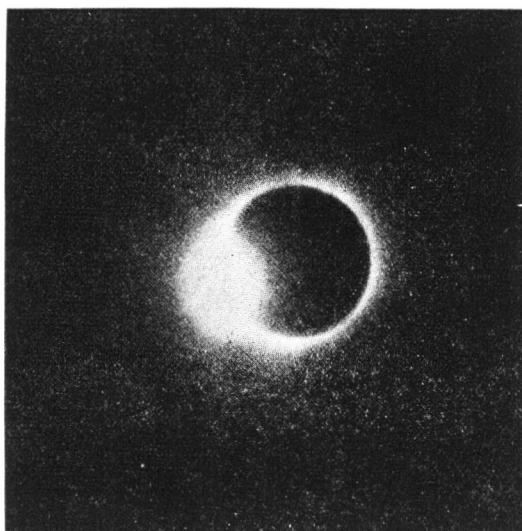


燃え上るプロミネンスの壯觀

(皆既中は眞紅に輝く)

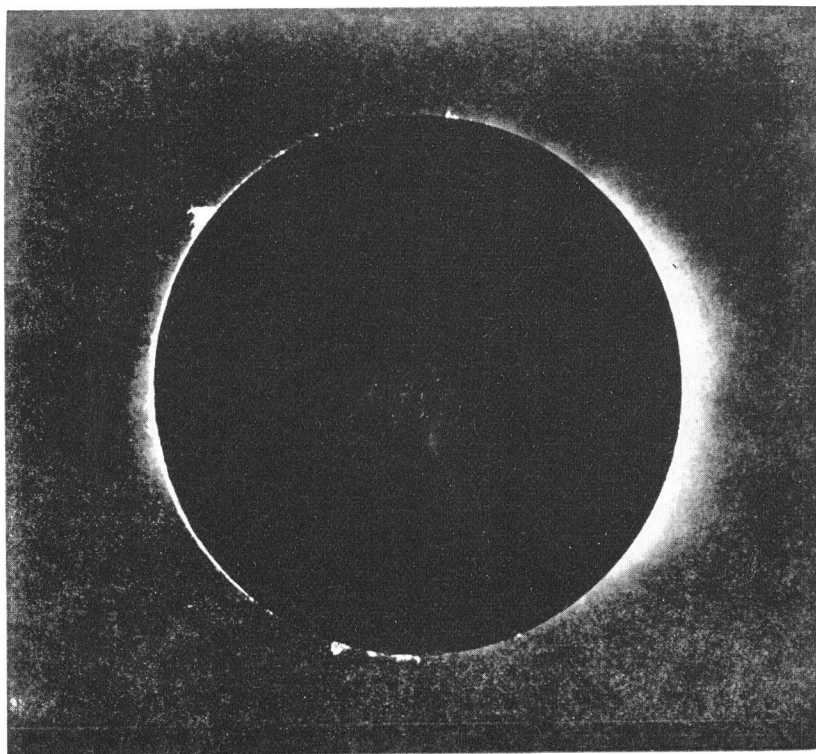


★——(ダイヤモンド環の壯觀二つ)——★
リング

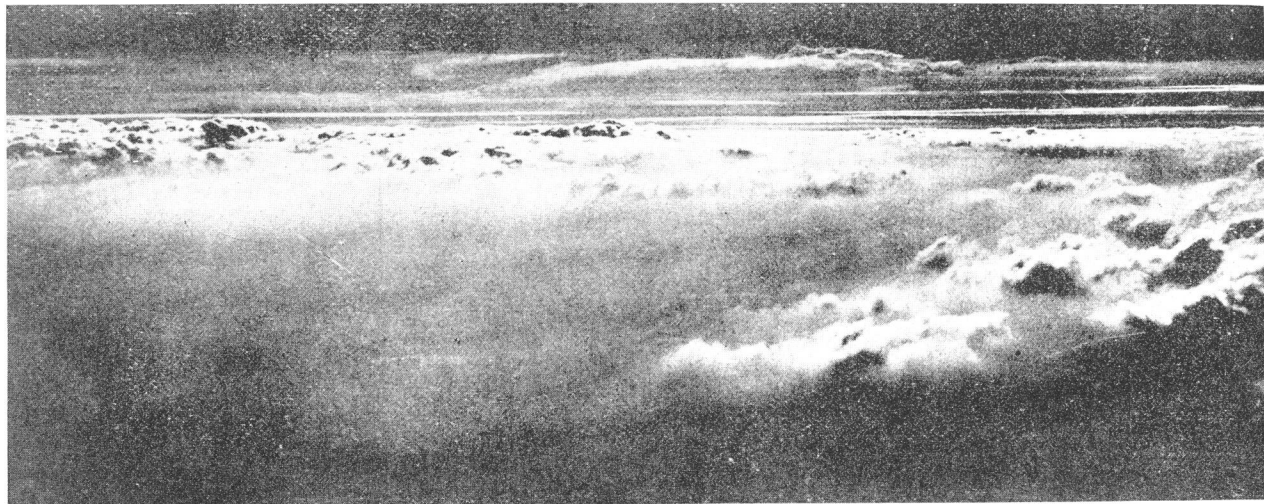


1918年6月8日の日食

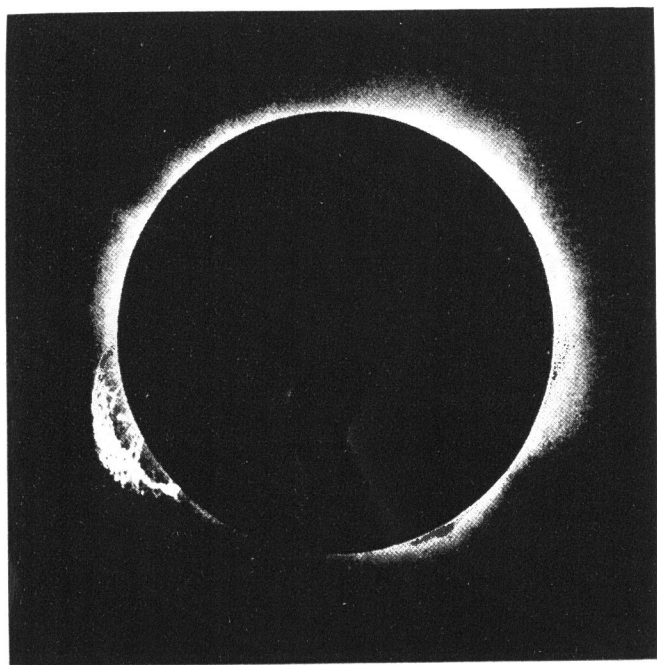
(リク天文臺撮影)



皆既食の瞬間、雲上に出ずれば



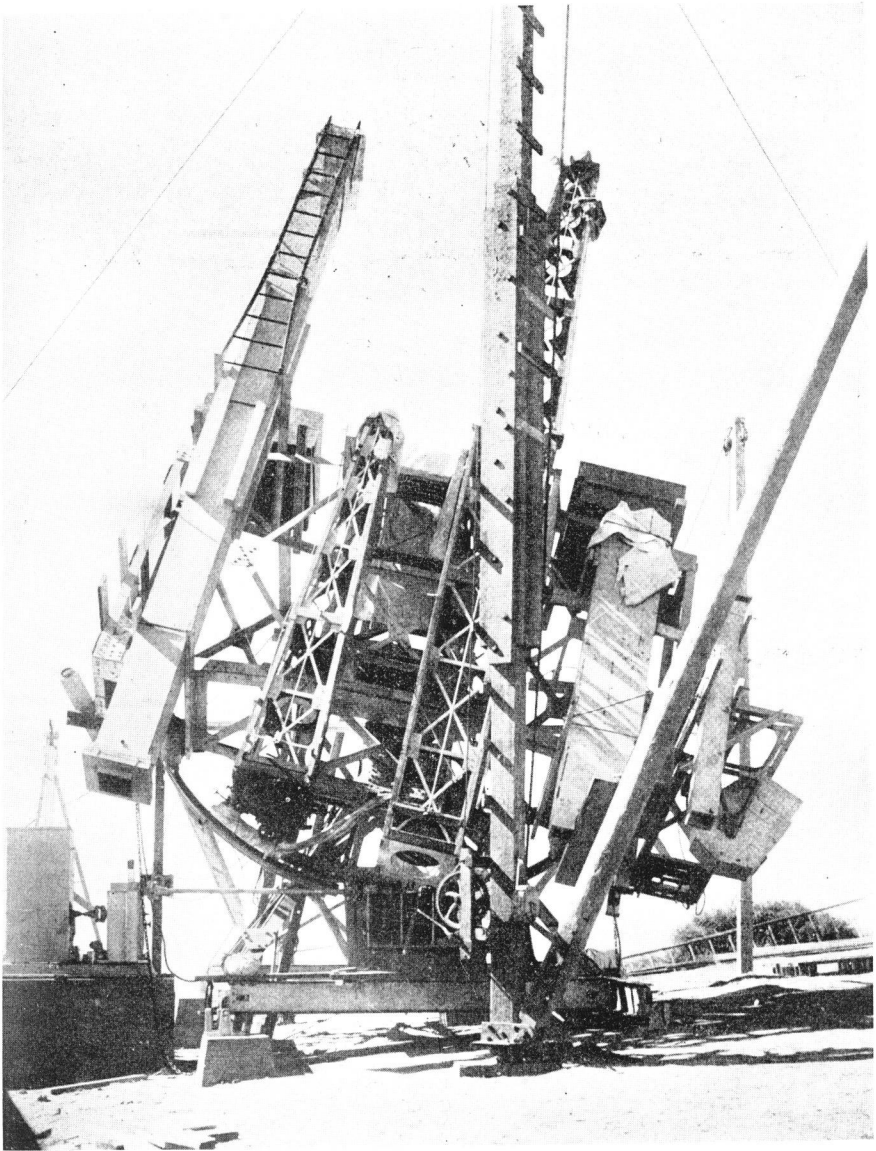
プロミネンスの高峰數十萬キロ!!



1919年5月29日の日食

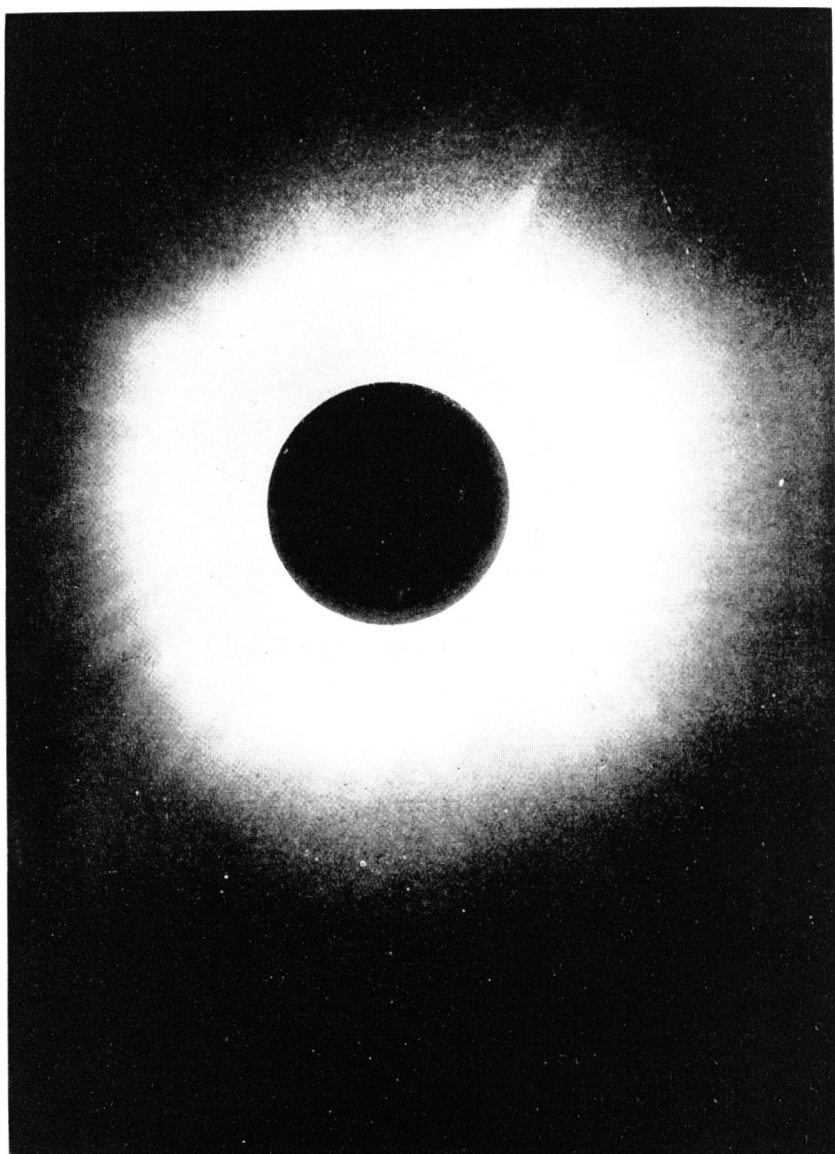
(エディントン博士の直接寫眞)

大 仕 掛 け の 観 測 機



1923年9月10日の日食時，井ルソン山天文臺の観測陣

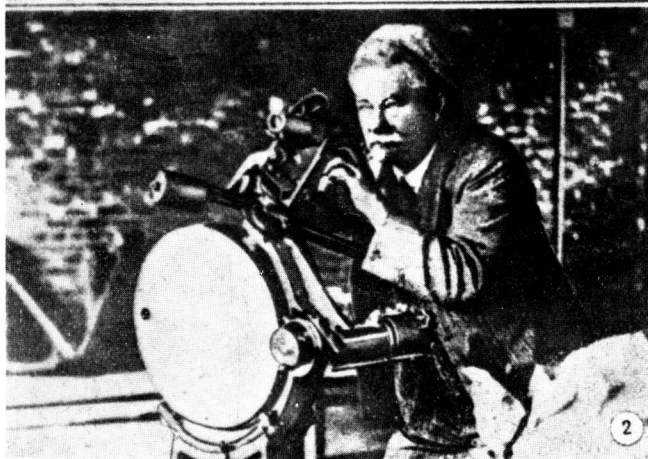
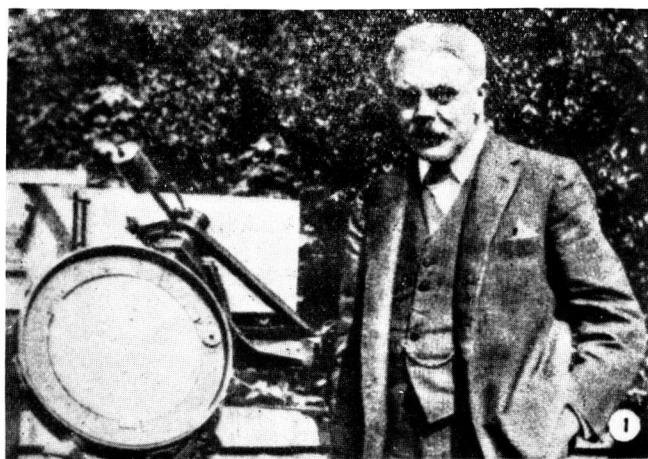
壯大なるコロナの景観!!



1926年2月14日，スマトラにて，Swarthmore College が15呎カメラにて撮影せしもの，
コロナが月形に擴がつてゐるのは，太陽黒點活動が最大なるを示す。

サー・フランク・ダイソンとタリナ教授の日食観測

—(1917年6月29日)—

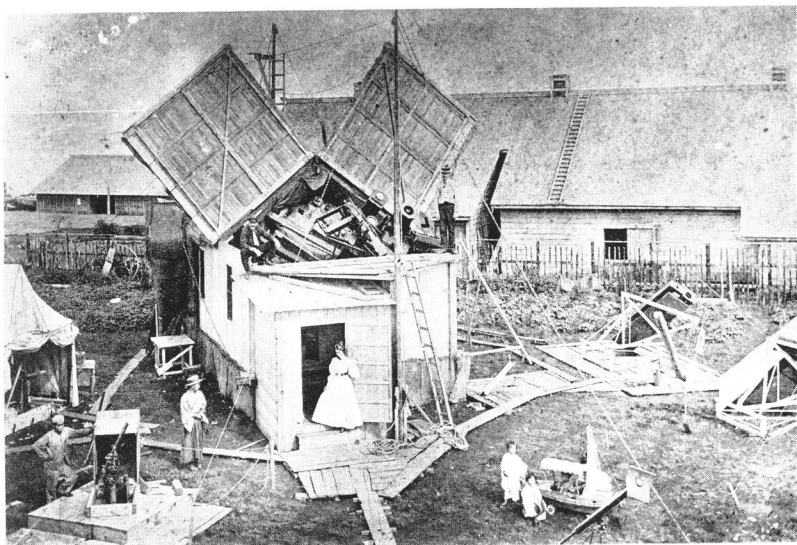


1927年6月29日にあつた日食は日本では部分食に過ぎなかつたが、北歐及シベリヤの東部等では皆既食が見えた、殊に英國では200年來稀有の事として學界も民衆も大騒ぎをした。

(1) はヨークシャーのギツグルスウィッチ校庭に於けるグリニツチ天文臺のサー・フランク・ダイソン氏とグリニツチ天文臺から態々運ばれた分光器

(2) はサウスボートのキング・ジョージ五世校庭に於けるオックスフォード大學のタリナ教授

40年前の記録

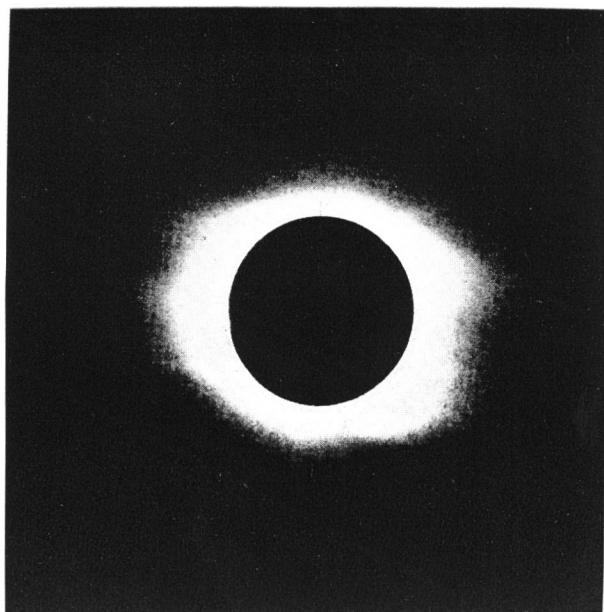


明治29年北海道枝幸に於けるトツド博士一行の観測陣

枝
幸
・
フ
ラ
ン
ス
臺

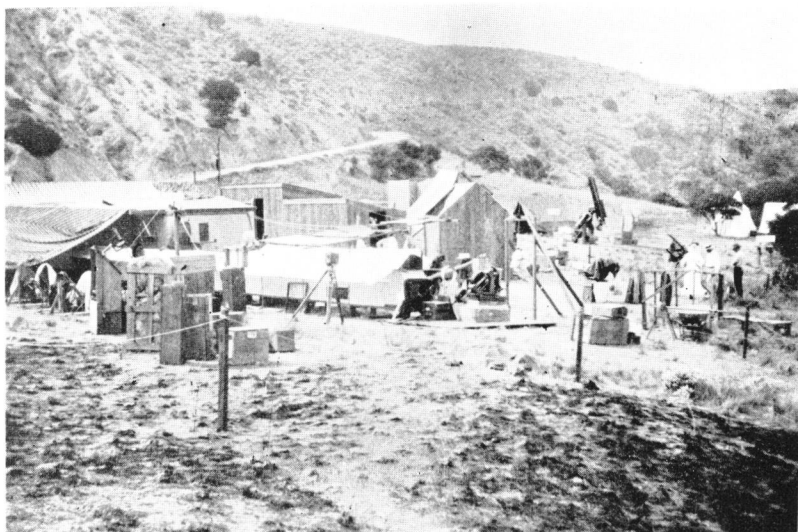


コロナ的美を仰ぐ



1923年9月10日の日食

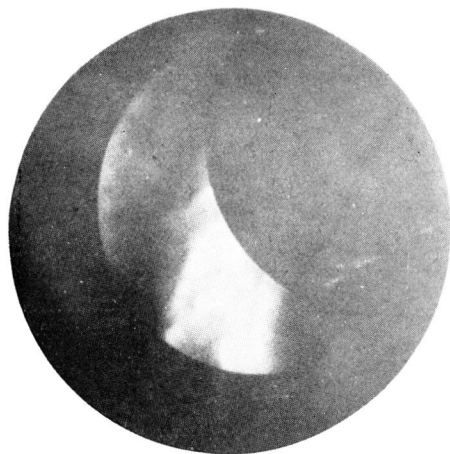
Sproul 天文臺撮影 (15呎カメラにて)



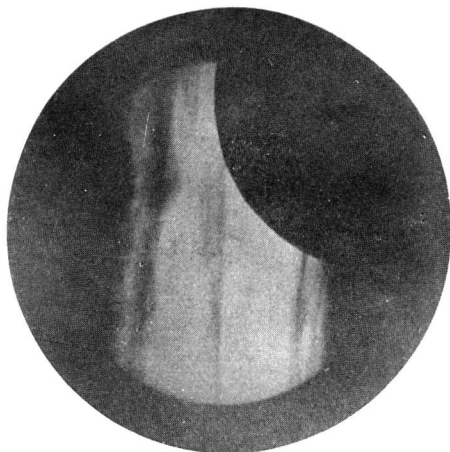
米國加州・カタリナ島日食観測陣(1923年9月)

雲に悩まされし鳥島日食

(大正7年6月8日)



部分食(其一)



部分食(其二)

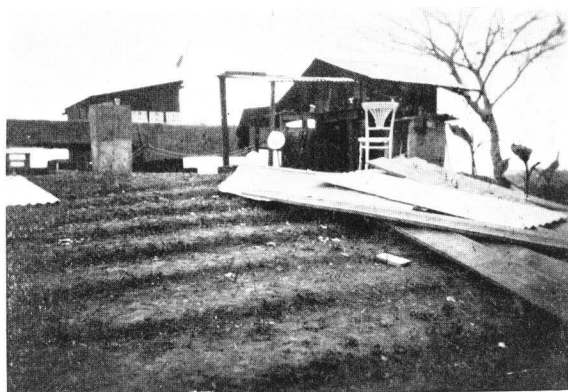


鳥島への観測器荷上げ

1929年5月9日

スマトラ日食の思ひ出

——(京大観測隊)——



観測陣“星ヶ岡”

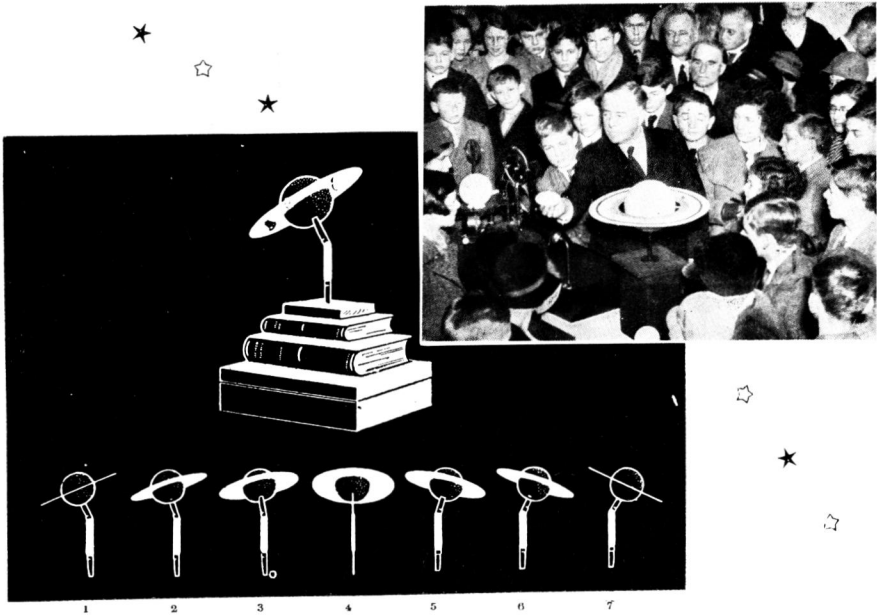


日食後山本隊長を中心に

日食直後の感喜



「土星環の消失」を見失ふな!!



土星の環が時によつて變つて見えるのはそれが傾いた軸の上を自轉しながら太陽の周圍をまわるからです

多事多端な本年の天文界を多彩ならしめる一大珍象“土星の環”の消失が、折も折、日食直後の6月28日頃に見られるのは、實に15年振りの事で、誰しも見逃すべからざる現象である、天文協會では觀測部遊星面課の部員達が總動員して、この貴重な瞬間現象を正確に精細にキヤツチするべく期待してゐるが、折柄の日食に氣を取られないで、數十倍程度の望遠鏡を所持される方は是非とも、この珍稀な天象を見届けて頂きたい。丁度内地は梅雨の候であるので、天候が危ぶまれるが、28—29日頃が全國が曇雨天とも限つたものでなし、僅かの晴れ間でも利用される事を希望し、日食直後の事でもあり、出張觀測隊の歸着後の準備が充分出来ぬ恨みもあるから、専門觀測者を助ける意味で、内地に滞在中の方々の奮起を請ふ次第です。

—(葵星)—

東亞天文協會

—“地方委員”—

阿部重夫 札幌一中
 佐藤興三 壽都町字渡島町(壽都74)
 川崎俊一 若手縣水澤天文臺(水澤1)
 山崎正光 ”
 五藤齊三 東京市世田谷區砵谷町1の142
 ” (世田3050)
 土居客郎 ” 芝區南佐久間町2の3
 稻垣武五 ” 田町6
 原田參太郎 品川大井森下町3989下川方
 細野貞 新潟市古町3
 上條清人 松本市榮町
 宮島善一郎 上田市原町3丁目
 三澤勝衛 長野縣上諏訪町
 中澤登 ” 松代小學校()
 金森丁壽 ” 水内東小學校
 大峽愼藏 ” 須坂町
 大谷掛七 ” 青木村村松
 清水眞一 靜岡縣島田町(159)
 井形厚臣 濱松市廣澤町299
 廣瀬永治郎 岐阜縣美濃町
 村上忠敬 名古屋市中心城女專()
 太田桂次郎 ” 東區德川町六の六(東1195)
 寺町忠行 愛知縣西春日井郡豐山(豐山1)
 小槇孝二郎 和歌山縣有田郡金屋(金屋30)
 木邊成慶 滋賀縣野洲郡中里村(中里30)
 吉田悅藏 ” 八幡町近江兄弟社(335)
 垂井増太郎 京都市明倫小學校(本2236)
 土方仙作 ” 同志社女專(上430)
 宇野良雄 ” 四條野村銀行(本1141)
 高井博典 ” 鳥丸三和銀行(本2191)
 佃泰三 ” 衣御池上ル
 吉岡久男 ” 五條三和銀行(下334)
 百濟教猷 大阪市南久太郎町4丁目
 坂元左馬太 鐵道省大阪改良事務所
 ” 第一土木係
 西川英男 大阪市住吉區住吉町四
 河合孝一 ”
 小尾榮松 ” 安土町2丁目(本805)
 小村傳次 ” 市岡中學校
 津田雅之 ” 北區澤上江町九丁目
 宮森作造 ” 大手前高女(東41)
 奥村幸二郎 ” 住吉區北島西1丁目104
 前田德次郎 ” 住吉區田邊東ノ丁4の26
 廣野熊治郎 ” 南區安堂寺橋3丁目(船1499)
 西森菊雄 ” 1丁目(船4014)
 山崎幸夫 ” 住吉區帝塚山中4丁目
 大口周作 大阪府南河内郡野田村西野
 井伊秀勇 ” 豐中中學校()
 伊達英太郎 阪急沿線雲雀ヶ丘(池田2546)

村山辨次 尼崎商業學校()
 改發香鳩 神戸市西須磨關守町
 荏部進 ” 灘區高羽ソッ山
 ” (御影3546)
 美田爲三 ” 須磨區離宮西町1丁目
 城憲三 兵庫縣鳴尾村北郷
 吉田源治郎 西宮市今津町高潮
 本田實 鳥取縣八束村鍛冶屋
 水野千里 岡山市門田18
 宮原節 ” 内山下
 坂本鑒四郎 ” 古京町1
 原澄治 ” 倉敷市本町(75)
 小山秋雄 ” 天文臺
 森本慶三 津山市山下
 松本義一 尾道市久保町(尾道241)
 中村饒 ” 廣島市大手町7
 森下功 ” 文理大
 眞田安夫 ” 比治山新町
 藤本敏郎 廣島縣安佐郡原村
 惠藤一郎 山口市縣立博物館()
 滿本達雄 山口市縣柳井中學()
 淺野英之助 廣島縣廿日市町南町(廣島6274)
 廣津藤吉 下關市梅光女學院(294)
 田中朝夫 高松市西濱新町
 河路甲午郎 松山高等學校(395)
 土居清 ”
 飯義壽 ” 今治市片原町(54)
 河端定惠 愛媛縣新居濱町原地
 篠崎長之 ” 高知高等學校()
 古賀和吉 大牟田市通町2(2264)
 有田邦雄 長崎報時觀測所()
 内海孝夫 福岡縣前原町西町
 山本齊 熊本市縣立工業校()
 村上春太郎 鹿兒島第七高等學校(7)
 坂元鐵馬 鹿兒島縣知覽町郡
 富原守清 沖繩首里眞和志町2の22
 吉田千枝子 臺北市錦町133の13
 松本武男 臺中高女()
 津野田誠吾 臺中病院(436)
 渡邊精吉郎 大連市桃源臺225
 佐藤俊男 新京軍政部參謀司
 水口民次郎 上海狄思威路增餘里16
 笹部榮一 ” 東洋綿行
 熊田政助 920 Punahou St., Honolulu.
 長田義二 P. O. 263, Brawley, Calif.
 神屋信一 } 1a Allianza,
 大窪文秀 } L. Noroeste, San Paulo.

() は電話

地方委員ニ關スル規定 (暫定)

- 一、地方ニアル會員中ノ有志者ヨリ特ニ適任者ヲ推舉シ、地方委員トスル
- 二、地方委員ハ本會ノ主旨ニ基キ、其ノ諸事業ヲ援助シ又一般會員ヲ指導獎勵スル

東亞天文協會

大正九年(1920年)創立, 昭和七年(1932年)改名

會長	山本一清	(京都市吉田泉殿町59)	[電話上5098]
副會長	水野千里	(岡山市門田18)	
會計監督	池田政晴	(京都市左京區岡崎黒谷町11)	
幹事	竹田新一郎	(京都市)	
同	稻葉運義	(京都市花山天文臺)	} [電話上6165]
常務	高城武夫	(同上)	
庶務	荒木健兒	(同上)	
會計	中村覺	(同上)	
本部	京都市山科, 花山天文臺		
倉敷天文臺	岡山縣倉敷市[電話55]——原名譽臺長[電話75]		

東亞天文協會 (舊名天文同好會)

大正九年(1920年)創立, 昭和七年(1932年)改名

規則摘要 (昭和7年10月15日改正)

天文學ノ研究及ビ會員相互ノ親睦ヲ増スノガ目的デアル

本部ヲ京都帝國大學花山天文臺内ニ置ク 又會員密集ノ地ニハ支部ヲ置ク
會ノ事業

- 一. 講演 (例會毎月一同, 總會年一回, 其他臨時會)
- 二. 講習 (各地デ臨時ニ開ク)
- 三. 雜誌圖書ノ出版 (雜誌“天界”ハ毎月會員ニ無代配布, 圖書ハ隨時)
- 四. 研究見學及ビ實地觀測 (本會ニ觀測部ヲ置キ, 別記ノ規約ニ依ル)
- 五. 天文臺ノ經營 (會員ニハ特權ガアル)

會員 此ノ會ノ目的ニ賛スルモノハ誰デモ入會ガ出來ル. 會費ハ每曆年度ニ
ツキ前納金參圓トスル. 但シ中途入會ノ場合ハ月參拾錢ノ割デ年未迄前納ノ事

維持會員 本會ノ經營ヲ支持スル趣意デ每年金貳拾圓以上ヲ齎出スル者

名譽會員 一時金壹百圓以上ヲ寄附スル者及ビ總會ニ於テ特ニ推舉セラレタ者

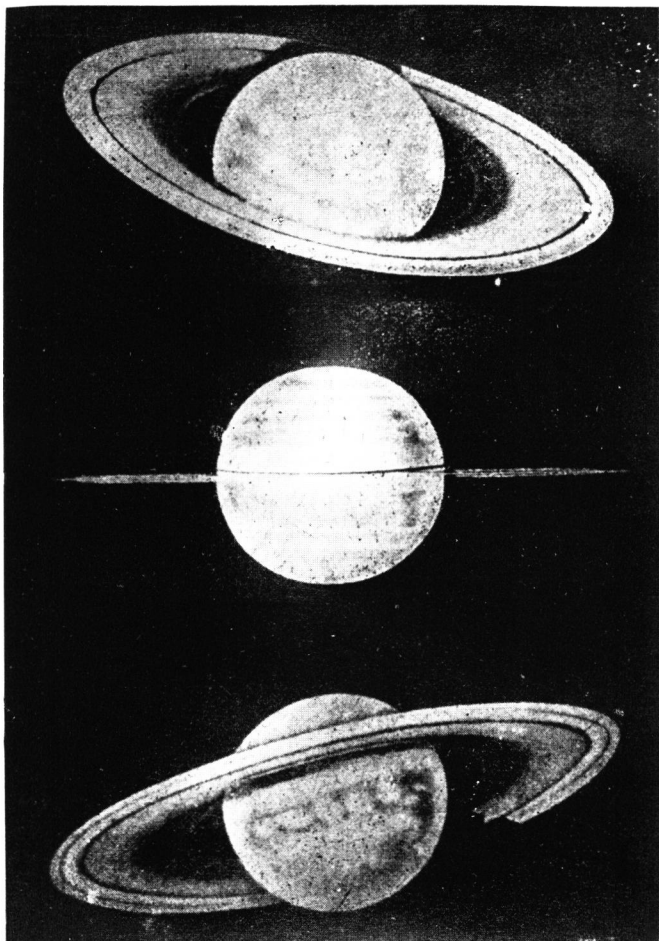
役員 會長 副會長 會計監督 各一名, 幹事 二名, 會計 一名

評議員 若干名 役員ノ相談相手トナル

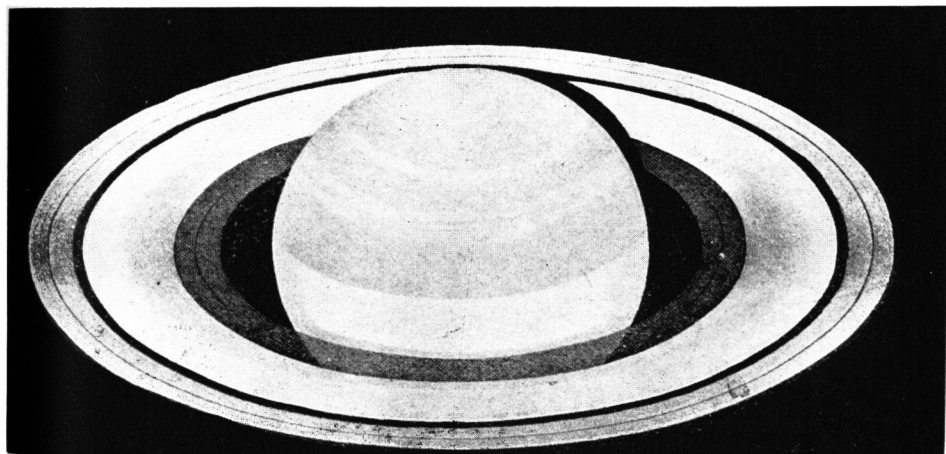
天界 第百八十二號 昭和十一年五月二十四日印刷 [定價金壹圓] 送料金貳錢

編輯兼發行者 京都市山科, 花山天文臺内 (振替大阪56765) 東亞天文協會 (代表者山本一清)
印刷所 京都市中京區柳馬場三條南入 株式會社似玉堂 (電本426. 427. 4501)
印刷所 京都市中京區柳馬場三條南入 福井松之助
賣捌所 東京市芝區南佐久間町2の3 恒星社 (振替東京64738)

踊る土星の三態



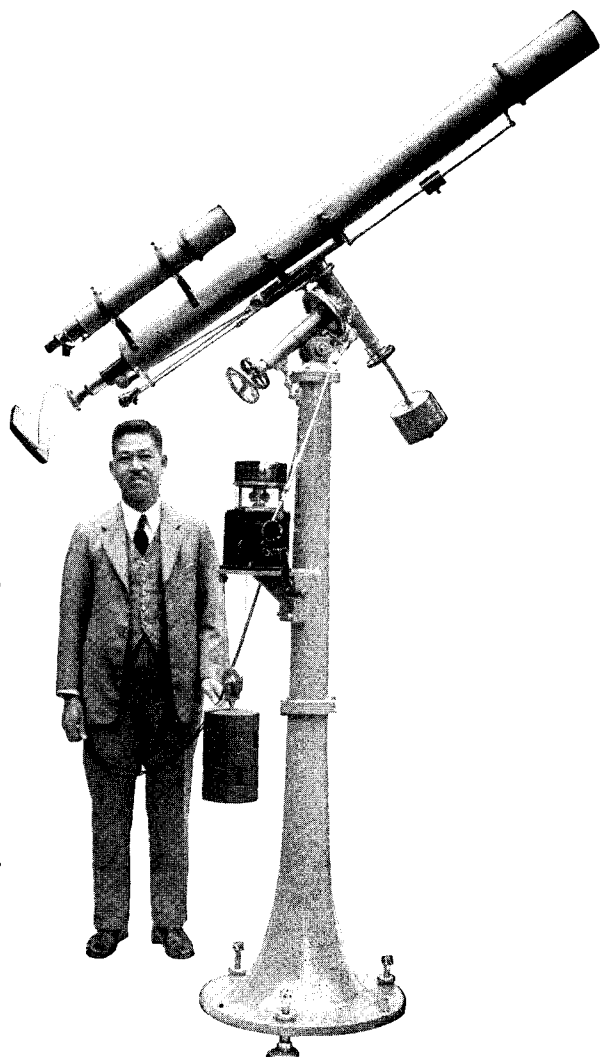
環の最も廣く見える頃の土星



Goto's
Astronomical Telescopes.

五 藤 式
天 體 望 遠 鏡

型
錄
進
呈



五 藤 光 學 研 究 所

東京市世田谷區弦卷町一ノ一四二
電話世田谷三〇五〇 振替東京七三二五五

十 糶 赤 道 儀

倍 率
附 屬 品

三 八 一 三 七 五

運 轉 時 計 ・ サ ン ア ン ド ム ー ン カ メ
ラ ・ コ メ ッ ト フ ァ イ ン ダ ー 其 他 完 備